

令和6年(2024年)4月1日  
滋賀県立安土城考古博物館

令和6年度春季特別展

# 稀品・逸品

## 滋賀県出土の指定文化財を中心に



新創古墳 武器 (当館蔵 重要文化財)



西河原遺跡群 湯ノ部遺跡 1号木板 (滋賀県蔵 重要文化財)



豊野山古墳 石製品 (東近江市蔵 重要文化財)



桜生7号墳 刻簪須恵器 (当館蔵 県指定文化財)



大岩山遺跡 10号銅鐃 (当館蔵 重要文化財)



福満遺跡 子持勾玉 (彦根市蔵 市指定文化財)



相谷瀬原遺跡 土偶 (滋賀県蔵 県指定文化財)



百満寺境内 甕器 (東近江市蔵 市指定文化財)



中沢遺跡 祭祀関連遺物 (草津市教育委員会蔵 市指定文化財)

令和6年 **4月27日(土) - 5月26日(日)**

- ◆開館時間 = 午前9時~午後5時 ※入館は午後4時30分まで
- ◆休館日 = 5月7日(火)・5月13日(月)・5月20日(月)
- ◆入館料 = 大人900円(690円) / 高大生640円(470円) / 小中生420円(310円) / 県内高齢者(65歳以上)460円(350円)
- ※( )は20人以上以上の団体料金です。

◆前夜の閉館は、大岩山遺跡(9時)・西河原遺跡(7時)・中沢遺跡(6時)・百満寺境内(6時)です。

◆主催 = 滋賀県立安土城考古博物館 ◆共催 = 京都新聞



近江風土記の丘

滋賀県立 **安土城考古博物館**  
Shiga Prefectural Azuchi Castle Archaeological Museum

令和6年度春季特別展

稀品・逸品

―滋賀県出土の指定文化財を中心に―

会 期 令和6年4月27日(土)～5月26日(日)  
会 場 企画展示室

県内の遺跡から出土した考古資料の中から、国の重要文化財、県や市の指定文化財を中心に、滋賀県のみならず日本の歴史を考えるうえでも重要な旧石器時代から江戸時代初頭までの稀品・逸品を紹介します。

【主な展示資料】

◎重要文化財、△県指定文化財、□市町指定文化財  
I 旧石器・縄文時代

真野遺跡 旧石器(大津市埋蔵文化財調査センター蔵)

△相谷熊原遺跡 土偶、土器、石器(滋賀県蔵)



真野遺跡 旧石器(大津市埋蔵文化財調査センター蔵)

II 弥生時代

□葛尾崎湖底遺跡 土器(尾上自治会蔵)

□丁田遺跡 大珠(彦根市蔵)

□正楽寺遺跡 竪櫛、耳栓、土面(東近江市蔵)

◎大岩山遺跡 1～10号銅鐸(当館蔵)

△湯ノ部遺跡 木偶(滋賀県蔵)

△烏丸崎遺跡 木偶(滋賀県蔵)

下之郷遺跡 盾、石器、土器(守山市教育委員会蔵)

III 古墳時代

□中沢遺跡 祭祀関連遺物(草津市教育委員会蔵)

◎雪野山古墳 銅鏡、石製品、壺形土器など(東近江市蔵)

◎新開1号墳 武器、武器、馬具(当館蔵)

□福満遺跡 子持勾玉(彦根市蔵)

△桜生7号墳 刻書須恵器(当館蔵)

IV 古代

◎湯ノ部遺跡 1号木簡(滋賀県蔵)

穴太廃寺 埴仏、銀製押出仏、瓦(当館蔵)

崇福寺跡 塑像、瓦(滋賀県立琵琶湖文化館蔵)

△春日北遺跡 緑釉陶器、灰釉陶器(滋賀県蔵)

打見山遺跡 陶製経筒外容器(滋賀県立琵琶湖文化館蔵)



△湯ノ部遺跡 木偶(滋賀県蔵)

V 中世

□百濟寺境内 蔵骨器(東近江市蔵)

△鴨田遺跡 巡礼札(滋賀県蔵)

VI 近世

△安国寺遺跡経塚 陶製経筒外容器(草津市教育委員会蔵)

〔特別展開連講座〕

5月11日(土) 13時30分～15時

「大岩山銅鐸と近江の弥生社会」

講師 伊庭功氏(当館前学芸課長)

5月18日(土) 13時30分～15時

「新開古墳にみる古墳時代の変化」

講師 細川修平氏(滋賀県文化スポーツ部)

参加費 一〇〇〇円(特別展観覧料含む)

会 場 当館二階セミナールーム

定員 一二〇名(往復はがきによる事前申込)

〔城郭探訪〕

5月12日(日) 13時～16時 定員20名

「安土城跡」

5月19日(日) 10時～16時 定員10名

「観音寺城跡と桑實寺」

5月25日(土) 13時～16時 定員20名

「安土城跡」

参加費 一五〇〇円(入山料・入館料・保険料含む)

雨天中止

※事情により行事内容や日時が変更になることがあります。最新の情報は当館ホームページでご確認下さい。



## 収蔵資料紹介

# ながはましかもたいせきしゅつどじゅんれいふだ 長浜市鴨田遺跡出土巡礼札

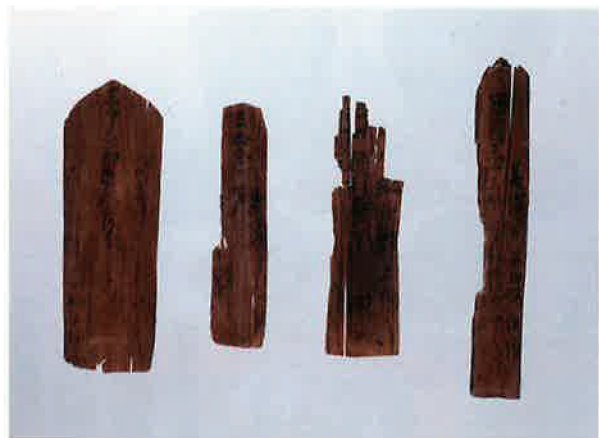
宝徳四年（一四五二）

滋賀県蔵

近畿二府四県と岐阜県に散在する観音霊場を巡拝する「西国三十三所巡礼」は、信仰・観光の両方を満たすことのできる行為として、現在も盛んに行われています。その起こりは鎌倉時代初め頃とされ、修験者の修行の一つだったようですが、室町時代には一般にも広まって、「巡礼の人、道路織るが如し」（『竹居清事』）と禅僧の語録に記されるまでになっていました。

近江国（滋賀県）内の札所は、岩間寺・石山寺・三井寺・宝厳院（竹生島）・長命寺・観音正寺の六ヶ寺です。琵琶湖の島である宝厳院や湖辺の長命寺などを巡るために、船も多く利用されました。

現在は、巡礼の人の多くは、御朱印帳などに各札所の御朱印を集めていますが、中世では逆に、自分が巡拝した記念として、名前や日時を記した札（巡礼札）を持参して、納めていたようです。長浜市の鴨田遺跡では、



おそらく各札所に納めるために巡礼者が持ち歩いていたのであろう巡礼札二十点が、十五〜六世紀の集落の各屋敷を区画する溝から出土しました。この場所には札所ではないのですが、宝厳寺への渡し場にも近く、他の出土品などから、何らかの宗教施設があった可能性が高いと考えられています。

いずれの札も様式は共通していて、薄く細長い木札の中央に「三十三所巡礼」の文字を大書し、その両脇に本人を含む巡礼グループの出身地や年月日を記しています。札に見える人々は、近江のみならず、美濃（岐阜県）や伊勢（三重県）・摂津（大阪府）などからやってきているようです。発掘で出土することは非常に珍しいため、「稀品」の一つとして春季特別展「稀品・逸品 滋賀県出土の指定文化財を中心に」で展示することになりました。（高木叙子）

## 甦る安土城跡

〜令和5年度の発掘調査成果〜

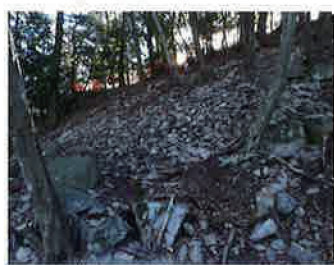
安土城では20年計画の「令和の大調査」がいよいよ始まり、令和5年度は、環境整備に関わる資料を得ることを目的に、天主台東面と本丸取付台で発掘調査を行いました。

天主台東面では、天主台の石垣が崩落した様子を検出しました。石垣は上半部が崩れており、崩落した石垣の石材が、残った石垣下半部の前面に斜面をなして堆積しています。崩落をまぬかれた石垣下半部の上端は、水平に石材が残っていますが、自然に崩壊した石垣が、このような状況になるとは考えにくいことから、人為的に壊されたのではないかと考えています。

また、本丸取付台では建物の礎石と礎石抜き取り跡を検出しました。礎石は本丸建物や天主のものとは変わらない大きなもので、火災により被熱した痕跡を残しています。今回の調査では建物の北半を確認し、本丸取付台にあった建物の規模や構造を考えると、手がかりを得ることができました。建物は南に広がると推測されるため、今後の調査で全体の規模や構造を追求したいと考えています。

調査は継続して実施する予定です。次年度以降の調査成果も、どうぞご期待ください。

（滋賀県文化スポーツ部 文化財保護課）



天主台東面の石垣崩落状況

春季特別展「**稀品・逸品**—滋賀県出土の指定文化財を中心に—」

4月27日(土)～5月26日(日)

6月	5月	4月
<p>5月27日(月)～9月2日(月) 休館(リニューアル工事のため)</p> <p>9月3日(火)から開館、常設展が観覧できます。</p> <p>工事中は、入館はできませんが公園はご利用いただけます。 また、屋外での体験学習については実施できるメニューがありますのでご相談ください。</p>	<p>25日(土) 城郭探訪③安土城跡〈要予約〉</p> <p>20日(月) 休館日</p> <p>19日(日) 城郭探訪②観音寺城跡と桑實寺〈要予約〉</p> <p>18日(土) 春季特別展関連講座②「新開古墳にみる古墳時代の変化」 講師：細川修平氏(滋賀県文化スポーツ部)〈要予約〉</p> <p>13日(月) 休館日</p> <p>12日(日) 城郭探訪①安土城跡〈要予約〉</p> <p>11日(土) 春季特別展関連講座①「大岩山銅鐸と近江の弥生社会」 講師：伊庭功氏(当館前学芸課長)〈要予約〉</p> <p>7日(火) 休館日</p>	<p>22日(月) 休館日</p> <p>15日(月) 休館日</p> <p>8日(月) 休館日</p> <p>1日(月) 休館日</p>

博物館の主な催し

特別陳列

3世紀の鞆ゆき

稲部遺跡出土の矢入れ具

—国内最古級、古墳時代前期の矢入れ具「鞆」を紹介—

令和5年11月22日(水)から令和6年1月14日(日)まで、望楼下において、特別陳列『3世紀の鞆 稲部遺跡出土の矢入れ具』を開催しました。連日たくさんのお客様にご覧いただきました。

展示した「鞆」は、稲部遺跡(彦根市稲部町)から発見された国内最古級の鞆の一部です。漆が塗られ、絹糸と植物繊維で織られています。令和元年(2019)、彦根市が実施した発掘調査で出土しました。

発見された当初は、その種別がはっきりしませんでした。しかし、その後の分析と調査検討により、古墳時代初頭(3世紀中頃・約1800年前)の武具の一種で、「鞆」と呼ばれる矢入れ具の「横帯」の破片であることが明らかとなりました。鞆として、国内最古級の資料です。

本資料は、集落内の導水施設とみられる溝から、長大な板などとともに出土しました。古墳時代の祭祀や、紡織技術を知るうえで重要な資料となります。



※博物館関連講座の会場は当館セミナールームです。

※事情により行事内容や日時・講師が変更になることがあります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。

※講座はすべて事前申込制となっております。詳細は、電話でお問い合わせください。なお、当館ホームページおよび講座の広報チラシでもご確認ください。

※滋賀県立安土城考古博物館は公益財団法人滋賀県文化財保護協会が指定管理をしています。

おおてみち 第127号

令和6年(2024年) 4月1日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館

〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678 TEL0748-46-2424

E-mail : gakuget@azuchi-museum.or.jp URL : https://www.azuchi-museum.or.jp